

中日ニュース

シネスコ版

道新 107P
高野 10184
新愛媛 1012
中口新 1021

両愛首義道一孔候一130呎 (左編ト77へ追加)
左編同

No. 349

35.9.23

1270呎 367市場-山口、下関市-36呎 (左編ト77へ追加)

道地

一、訪米する皇太子ご夫妻
—東京・栃木

九月二十二日、日米修好百年祭を記念してアイゼンハワー大統領の招きで渡米する皇太子ご夫妻は毎日準備において忙しい日を送っています。そして出発を前にした十九日東京御所ホールでの記者会見で皇太子様はアイゼンハワー大統領の訪日中止は非常に遺憾なことだが、アメリカのみなさんに招待を頂いたことは大変嬉しい、そして日米親善に大いに努力したいと述べ、又育ち盛りの浩宮様をおいて行かれる美智子様はたった二週間の旅だが浩宮様が声を忘れない様テープに子守歌を吹き込むなど子を持つ親の心を物語になりました。

週刊話題

一、秋は美容から

—東京・千葉

酷暑の夏が去り、本格的な秋を迎えて今年も賑やかなファッション・ショウのシーズンとなりました。世はムードの時代とあつて着物・ショウには踊りを折りこみ、女性ヘアスタイルには男性美容師を売りものにするなど新手法が続々現れました。しかもあたりまえでは売れませんが「四次元界」(よじげんかい)のヘアスタイルなど前衛派が横行し世の男性方をふるえあがらせています。

一、名古屋市長に小林氏

名古屋市長選挙は自民党の辻候補と民社・社会の野党連合が推す前市長小林候補との間で争われました。九月十五日には総理大臣の池田さんも応援にかけつけましたが、名古屋駅では全学連や陳情部隊にとり囲まれて立往生。招かざる「歓迎陣」にはいささか御機嫌ななめでした。

一方小林さんの応援にやつて来た西尾さんと浅沼さんはふだんのけんかも一時休戦。仲良く手をつないでの激励をしていました。その甲斐あつて十八日から開票されるや小林候補が終始リードをつづけ四万票余りの差で見事当選総選挙の前哨戦にまず金星を獲得しました。

一、物いいのついた「永仁のツボ」

—愛知

せともの焼きで知られる愛知県の瀬戸市。年に一度のせともの祭りも今年「永仁のツボ」をめぐつてとんだ騒動を呼んでいます。重要文化財に指定された「永仁のツボ」は架空のものであるというのがそもそものほつたん。物いいをつけた瀬戸市史編さん委員会は、この程、発見したという場所へ現場調査。ところが、出てきたものは鎌倉時代とはおよそ縁遠い代物ばかり。その場所も点々と変わり、ついに水源地ということがになり、アリバイ工作はとうとう湖底にまで発展したのです。こうした折から瀬戸市に住む加藤宇助さんは、「私はニセ作りであると名乗り出ました。カマから出した花ピンも細工次第で一時間には古陶器に早変わり、それでも、「永仁のツボ」くらいになると七ツ道具では通つかないことです。カメラスケッチ

一、「としよりの日」によせて

—東京・愛知・京都

九月十五日は「老人の日」。長寿を祝う集に各地で催されました。東京都では、今年も年一度、二千円の敬老金が配られ、このわずかなお金をおしりたかくのびました。京都市加茂川のほとりに十年前から風変わり老人が住みついて、このわずかなお金をおしりたかくのびました。今年から年中石を集めて仙人のような生活を送っています。もの言わぬ石を愛する生活は現世への無言抗議でもあるようです。また、愛知県半田に住む小田さん夫婦は戦争で家財を失いガム島ながらのほら穴生活を送ってきました。肌が土色になりながら不自由な妻をいたわってきました。このほど篤志家がバラックを贈り住みなれたほら穴に別れを告げました。この二十八年間の穴ぐら生活を支えてきたものは老いて変わらぬ夫婦愛でありましょう。

6870呎 2180呎 1570呎 1040呎 A10呎 1270呎